

国内研修



第一次事前研修

(1)日時:2014年6月15日(日)10:00-17:00

(2)目的:①JICA事業(技術協力・有償資金協力・無償資金協力)についての理解を深める。

②教師海外研修全体の趣旨・目的を理解し、目的意識を明確にする。

③海外研修の概要を知り、研修全体の理解を深める。

④開発教育に関する知見を深める。

⑤派遣国の知見を深める。

(3)プログラム内容

時間	内容	講師
10:00-11:30	オリエンテーション ●あいさつ ●関係者紹介・参加者自己紹介 ●教師海外研修の全体概要説明 ●JICA 事業概要説明 ●現地スケジュール(案)の説明 ●公用旅券証関連書類作成・提出	JICA 関西
11:30-12:30	ワークショップ① ●開発教育概論 ●誰にとっても持続可能な社会について考える(研修テーマ)について	柳学園中学・高等学校 教諭 山中 信幸 氏
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-15:30	ワークショップ② ●ワークショップ手法の習得	山中 信幸 氏
15:30-16:30	JICA ボランティアの目を通して見たブラジル ●JICA ボランティアの活動について知る ●教師海外研修で活動地を訪問された際の交流授業の様子等を伺い、今回の研修に活かす	JICA ボランティア経験者 [ブラジル]日系社会青年ボランティア※ 小西 三枝 氏
16:30-17:00	渡航手続きおよび事務連絡	JICA 関西

※日系社会青年ボランティア:中南米の日系社会で自分のもっている技術や経験を活かしてみたいと言う強い意志を持った方々を派遣し、日系人、日系社会の人々と、ともに生活・協働しながら中南米地域の発展に協力していただくJICA ボランティア。

参加者の声

◇参加できることが決まってから、不安の方が大きい日々でしたが、それが少しずつ解消されてきました。共にがんばろうという思いが強くなりました。

◇「開発教育」とは、どういったことをさすのかが分かりやすく教えていただいたので、よかったです。

◇午前の最初からたくさん考えさせられました。昼休み中も頭の中がずっともやもやしていました。

◇開発教育はなぜ行われるのか、そこについて考えることができたことがとてもよかったです。教育することで、いかに自分の生き方、考え方を見つめ直していくか、国際理解教育が文化紹介にとどまるのではなく、本当の異文化理解できるようつとめていきたい。



◇「考える」といっても実際どのように授業をして形づくっていけばよいのかイメージがありませんでしたが、いくつかのワークショップを紹介していただけて分かりやすかったです。

◇日系Vとしてどのように活動し、どのような教育がされていたのかがわかり大変うれしかったです。日本とくらべながら、よさを再確認したり活かしたりしたい。

◇情報でしか知らないブラジルを知ることで、自分自身の価値観や見方が変わってくると思います。(今は具体的には分かりませんが…)





第二次事前研修

(1)日時:2014年7月5日(土)10:00 - 6日(日)16:30

- (2)目的:①派遣国に関する知見を深める。
 ②教材・手法の活用について学ぶ。
 ③研修のテーマを設定し、実践授業をイメージする。
 ④参加教員同士の研修目的の共有を図り、事前準備について明確にする。
 ⑤海外研修までの準備(役割分担・渡航手続き等)を行う。

(3)プログラム内容

[第1日目:7月5日]

時間	内容	講師
10:00-11:00	渡航ブリーフィング 研修日程、訪問先について	JICA 関西
11:00-12:30	ブラジルの方から見たブラジルと日本 ★訪問国に対する理解を深める ★ブラジルの方から見た日本の印象を知る。 ↓ ●ブラジル基本情報 ●多文化共生の観点から見るブラジル地域差 ●日本人移民、日系人定住者 ●継承語としての「日本語」「ポルトガル語」 ●W 杯開催から見るブラジルの課題	京都外国語大学 非常勤講師 野中 モニカ 氏
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-16:30	過去参加教員による報告 1) 2013 年度の本事業実践授業報告 2) 授業内容等についての検討会	(ファシリテーター) 山中 信幸 氏 (報告者) 東近江市立永源寺中学校 西田 栄宏 氏(2013参加教員) (検討会) JICA関西 教師海外研修OB会
16:30-17:30	2013 年度参加教員からの 2014 年度研修に向けての体験談や助言等	2013 年度参加教員
17:30-19:00	夕食・休憩	
19:00-21:00	グループワーク 役割分担、訪問先での参加型研修の意味を理解し、準備を進める。 日程確認・班分け、役割分担・研修実践案の作成	参加者 アドバイザー 山中 信幸 氏

[第2日目:7月6日]

時間	内容	講師
9:00-10:00	海外研修について 事前準備や海外研修について理解を深める ●ブラジル事務所とのテレビ会議	JICA ブラジル事務所 次長 永田 健 JICA-NGO ジャパンデスク 又吉 エドアルド
10:00-12:30	ワークショップ①	山中 信幸 氏
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-16:00	ワークショップ② ●授業実践に向けたカリキュラム作り ●研修成果を授業に取り入れる際の留意点の確認	山中 信幸 氏
16:00-16:30	公用旅券並びに航空券などの手交と説明 事務連絡 ●出発までの予定および帰国後のスケジュール ●報告書について	郵船トラベル 小野 豊 氏 JICA 関西



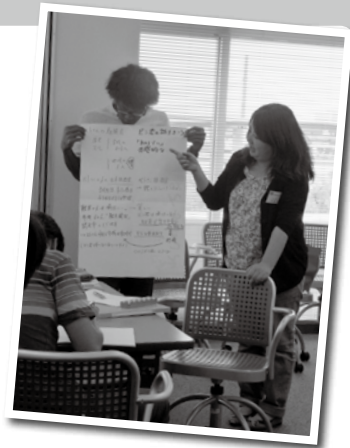
事後研修

- (1)日時:2014年8月24日(日)10:00 - 16:30
- (2)目的:①海外研修で得た経験を教員間で共有する。
②海外研修で得た経験や教材を整理する。
③授業づくりのヒントを得る。
④実践授業に向けたカリキュラムを作る。
- (3)プログラム内容

時間	内容	講師
10:00-11:00	資料整理・教材共有 ●海外研修を振り返り、参加者同士で体験を共有する	山中 信幸 氏
11:00-12:30	授業づくりについて ●授業案をつくるときの注意点、教材化のヒントなど ●教師海外研修で得た素材を実践授業用に整理する ●参加者同士で素材を共有する ●中・長期で、本事業参加経験を活かすには	(ファシリテーター)山中 信幸 氏 (報告者)兵庫県立兵庫高等学校 大前 吉史 氏 (2004年フィリピン参加教員)
12:30-13:30	昼食・休憩	
13:30-16:00	実践授業の計画作り ●整理した海外研修の素材を使って指導案を作成する	山中 信幸 氏
16:00-16:30	事務連絡	JICA 関西

参加者の声

- ◇帰国後、ゆっくり経験を振り返る時間がなかったので、機会を与えていただいただけでなく、ほかの方からのコメントももらえて良かった。
- ◇人に話すことで、改めてブラジルのことを考え、整理ができた。また、周りの人の考えを聞くことでより学びがあった。
- ◇小学生に対する授業づくりには少し難しい内容でしたが、たくさんの内容を伝える工夫を感じることができました。
- ◇「国際協力」についての授業展開のヒントがありました。
- ◇みんなの授業案を聞いて、どの授業も参加してみたいと思いました。頭の中が整理されて授業への期待が高まりました。
- ◇共有する(シェアする)というのは、とても学びになるし何より自ら考えを語ることで頭が整理され明確になるだけでなく、新たな発見にもつながるということがわかった。有意義な時間だった。



- ◇校種も学年も違う先生方と話ができて(授業案)、本当によかった。この研修に来なければこういう経験が出来なかったです。皆さんありがとう。
- ◇こういった時間はとても有意義でした。さらに深めて、組み立てていきたいです。